

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

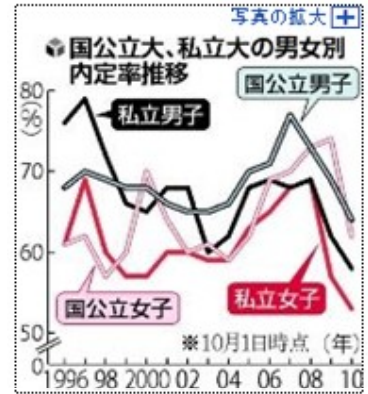
2010.11.25

No. 61

## 大卒就職内定率1996年以降最悪の57.6%

先日文科省と厚生労働省の調査で、10月1日現在で大卒の就職内定率が極めて厳しいとの発表がありました。国公立大は63.2%（前年同期比8.1ポイント減）、私立大は55.8%（同3.8ポイント減）とのこと。

進学予定者は今回は就職の荒波をくぐらずにすみましたが、2~4年後には就職で苦労することを今から覚悟しておいた方がよいでしょう。今後日本の経済がめざましく回復する見通しは少ないでしょう。あの厳しかった昨年よりも大卒求人はさらに厳しくなっています。進学者が就職の際は高校のように学校で面倒を見てくれるわけではありません。基本は全て自分で企業開拓をしなくてはならないはずです。



読売新聞(11/17より)

専門学校へ進む生徒は取るべき資格はきちんと取る、大学進学者は学業にしっかり励むことがまず必要でしょう。まして様々な学校から入っている生徒と張り合っていくためには、それなりの実力を付けていかないと通用しません。入学できたという安心感に浸っているだけではなく、さらなる実力を付けるよう、高校での勉強を怠ることのないように!



## 気働きが出来るか？

先日、今年の3月に卒業した先輩の勤めている会社にある生徒が見学を希望したため一緒に行ってきました。その際その先輩が、金属材料を機械にセットし、加工が終わるまでのわずかな時間をその機械から離れて次々に3~4種類の仕事をこなしている姿が目に入りました。次はこれをやれと上司から指示されているわけではなく、自分で次にやるべき仕事を見つけて寸暇を惜しむかのようにきびきびと工場内を動き回っていました。一つの仕事が終わるのをその前でぼけっと見ているのではありません。勿論上司からあらかじめ、やらなくてはならない仕事を幾つか言いつかっていると思いますが、自分できちんと次にやるべき仕事の手順を考えながら動いている姿に感心しました。これは職場の中で教育されてきたから出来ている面もあると思います。

世の中に出ると、一つ一つ指示されなくとも自ら考えて(気働きのし)動かなくてはならないことが多くあります。前回書いた「指示待ち人間はダメ」と同じことですが、その場その場で状況を見て自ら判断してどれだけ動けるかにより、「使いものになるか否か」が判断されます。企業に入れば自分の時間と引き替えに給料をもらっています。限られた時間をどれだけ有効に使えるかは企業にとっても大きな問題でもあるでしょう。

きちんと気働きが出来れば、どこへ行っても通用できます。人間心がけたり訓練をすれば結構自ら動けるようになるものです。社会に出るに際して、もう一度日頃から気を利かしてテキパキと動けるよう、自らしむける心がけをして欲しいものです。